

「八千代市財政運営の基本的計画」改訂のポイント

1. 改訂の趣旨

平成 28 年に計画を策定し、令和 3 年 3 月に本市中長期財政収支見通しや千葉県内市の状況等を勘案し一部改訂を行いました。この度計画期間の中間年度となる令和 6 年度末を迎えるため、その後の社会経済情勢の変化、近年の資材価格・労務単価の上昇の影響、新庁舎建設や市民体育館の改修など公共施設の老朽化対策等に伴う市債借入の見込み等を踏まえ、内容を修正しました。

第 5 次総合計画との整合を図っていることから、基本的な考え方や構成は現行どおりとし、中長期財政収支の見通しの推計期間と、計画における財政目標値等の見直しを行います。併せて、令和 3 年の計画一部改訂後の実績や情報に基づき、各種統計資料の整理を行います。

2. 改訂に至った経緯

■中長期財政収支見通し

現在は第 5 次総合計画との整合を図る観点から、中長期財政収支見通しの推計期間を令和 10 年度までとしましたが、今後は常に一定期間の収支見通しを示すこととするため、推計期間を将来 10 年間としました。

■財政目標値

・経常収支比率

令和 6 年度末における中間目標値 94.9%以下に対し令和 5 年度決算では 96.6%となっていること、また賃金上昇による人件費の増、少子高齢化の進展に伴う扶助費の増、資材価格・労務単価上昇による物件費等の増といった傾向が今後も続くと考えられること、近年全国的にも経常収支比率が上昇傾向にあることから、まずは 94.9%以下を目指すこととして、これを令和 10 年度の目標値としました。

・財政調整基金残高

目標値の変更はありませんが、本市の人口の増に伴う市税等の伸びに伴い標準財政規模が増加基調となっていることから、目安となる財政調整基金残高の額を修正しました。

・市債残高

新庁舎建設、市民体育館の改修、防災道の駅やちよ・八千代ふるさとステーションリニューアル整備などの公共施設の老朽化対策等の実施と、近年の資材価格・労務単価上昇による工事費の増に伴う市債借入見込みを踏まえ、目標値を見直しました。

3. 主な改訂内容

修正点		改訂前	改訂後	修正の内容
中長期財政収支見通し		推計期間 令和 4 年度～令和 10 年度 までの 7 年間	推計期間 将来 10 年間	長期的な見通しを行うため 将来 10 年間の推計を作成
財政目標値	経常収支比率	令和 6 年度末中間目標値 94.9%以下 令和 6 年度決算見込 ⇒達成が困難 令和 10 年度最終目標値 <u>93.0%以下</u>	令和 10 年度最終目標値 <u>94.9%以下</u>	賃金上昇基調による人件費の伸び、民間保育園等に対する補助や障害福祉サービス費等の扶助費の伸びの影響による本市の財政構造の変化を反映しました。 また、近年の資材価格・労務単価の上昇による物件費等の伸びに伴い、全国的にも経常収支比率が上昇傾向にあることを考慮し、令和 5 年度全国平均値及び県内市平均値等をふまえ、目標値を見直しました。(P13,18 参照)。
	公債費負担比率	令和 10 年度最終目標値 13.0%以下	令和 10 年度最終目標値 13.0%以下	修正無し
	財政調整基金残高	令和 10 年度最終目標値 標準財政規模の 10.0%以上 (R元ベースで約 33.6 億円)	令和 10 年度最終目標値 標準財政規模の 10.0%以上 (R6 ベースで約 38.6 億円)	標準財政規模の 10.0%以上の目標は変更ありませんが、標準財政規模を基に金額を修正しました。
	市債残高	令和 10 年度最終目標値 <u>400 億円以下</u>	令和 10 年度最終目標値 <u>490 億円以下</u>	新庁舎建設、市民体育館の改修などの公共施設の老朽化対策に伴い、近年の資材価格・労務単価上昇による工事費の増に伴う市債借入の見込みを踏まえ目標値を見直しました。

令和 7 年 3 月改訂
財務部 財政課